

分科会：テーマ5 「心豊かな”よっかいち人”を育むまち」をどう描くか

～教育・文化・スポーツ・生涯学習～



討論のポイント

- (1) 学校の教育力の向上について
- (2) 市民協働による文化・スポーツの振興について
- (3) 地域コミュニティの再生について
- (4) その他

各意見の概要

- (1) 学校の教育力の向上について：22件

<p>・子どもは学校だけで育つのではなく、地域コミュニティの協力も必要だし、また、文化やスポーツ等での体験も必要。</p>
<p>・子どもたちが大人になったときにどんな人になってほしいのか、何を目標として子どもを育てたいのかという視点が欠けているように思う。</p>
<p>・道徳心や社会のルールを身に着けた“人間力”ある人に育ててほしいと願う。そのための指導が学校教育のなかにあればよいと思う。</p>
<p>・そのためにも、「ボランティア」について学校や地域でもっと教えてはどうだろうか。障がい者や高齢者に理解を深める子どもが育つと思う。</p>
<p>・学校教育には、先生の問題、子どもの問題、家庭の問題が関係する。昨今は、家庭の問題が学校に持ち込まれることが多いように見受けられる。経済力が学力に影響する時代なので、家庭と学校の連携が学力の向上にもかかわるのではないかと。経済力のことを考えると、将来的には、教材や給食の無償化も検討してもいいのではないかと。</p>
<p>・先生の質がよく問題となるが、それだけでなく地域コミュニティにも問題はあつた。地域も子どもをどう育てるか、考えをもつことが必要である。</p>
<p>・また親の責任、家庭の教育力の低下も原因である。親の教育は誰がするのか。地域も含めて考える必要がある。</p>
<p>・学校と地域が結びつくことで本当の学校の個性・特性が出てくるはず。学校協力者会議やコミュニティスクールを活用し、充実させ、PRして定着・浸透させるしくみが必要。認識する人を増やすためにPRは重要。</p>

<p>・学校評価は学校理解と考えるべき。学校に関心のある人をどんどん集めて地域とともに学校をつくる必要があると思う。</p>
<p>・行政としてできることは、例えば毎月の「家庭の日」をもっと市民に浸透させる努力をしてもいいのではないか。</p>
<p>・地域と親が協力し、同年代の親が集まって考える場、交流する場があってもよい。子どもが乳幼児のとき親はよく集まるが、小学校高学年などになると親は集まりにくいのが現状。しかし、できるようになるとよい。地域での呼びかけも重要だが、地域単位だと人間関係から集まりにくい場合もあるので、別の形での呼びかけも考える必要がある。</p>
<p>・東京など他の県・市では学校でも塾のように補習や追加の教育を行っているところがあり、それも教育力向上のひとつの手だろう。</p>
<p>・障がい児教育を考えると、四日市に限らず日本は「インクルーシブ教育」の視点が弱いと思う。「インクルーシブ教育」とは、“隔てのない教育”のこと。豊かな共生社会の土台となる。障がい児、外国人市民に限らず、すべての子どもたちの成長にかかわること。</p>
<p>・特別支援学級の現状が知られていない。卒業後、社会に適応できず、苦しい生活を強いられる人は少なからずいる。外国では、福祉と教育が一体化した取り組みをしているところがある。そういう考え方を新総合計画には盛り込んでほしいと思う。</p>
<p>・学校の先生方に時間が足りないように感じる。</p>
<p>・教育予算の増強を求める。</p>
<p>・“コミュニケーション能力”を向上させることが“生きる力”にもつながる。</p>
<p>・だれもが大卒を目指す必要があるのだろうか。中卒、高卒で社会に出て、ものづくりを体験したり、社会へ対応する人を育てていけばいいのではないだろうか。それが道徳心、ボランティア精神をも育てると考える。</p>
<p>・みんな同じでなく、“オンリーワン”の子どもを育ててほしい。いいところ、得意なところを伸ばす。そのための場を用意してあげるとやる気のある子になるのでは。</p>
<p>・競争の原理も取り入れながら、幅広い価値観で子どもたちを育ててほしい。</p>
<p>・今の大人が変わるべき。</p>
<p>・学校で学ぶことが実生活につながっていないために学力が定着しない。生きる力、問題解決能力につながらない。</p>

(2) 市民協働による文化・スポーツの振興について：7件

<p>・スポーツや文化の体験を通じて地域で子どもを育てることと関連して、スポーツ施設・文化施設とも地域が使いたいときに使えない現状。地区ごとに割り当てる日があってもいいのではないか。</p>

<p>・四日市には県の施設がない。誘致したり、県の補助を得て施設を整備するような働きかけも必要ではないか。</p>
<p>・中学校では生徒の減少や先生の負担増で部活がないスポーツが増えている。総合型スポーツクラブを学校の部活動に認められないか。そうすれば継続的にやりたいスポーツもできるし、先生の負担も減る。地域の中でスポーツを通した子育てが可能になる。世代間交流も可能になる。</p>
<p>・地域単位のスポーツも大事だが、広域的なスポーツ行政も必要である。</p>
<p>・市民の文化活動は盛んであるが、行政や企業との協働はまだ難しい。協働できるように、皆で一緒に考える場があるとよい。</p>
<p>・スポーツでも文化でも一流の人材を育てるためには、長期的展望の中で、施設整備も必要である。国体やインターハイが予定されている。</p>
<p>・文化やスポーツに触れられる場づくりが重要である。</p>

(3) 地域コミュニティの再生について：7件

<p>・地区センター単位で、地域の団塊世代などの技能ある人材の情報を集め、地域の事業に活かしていくシステムづくりができるとよい。</p>
<p>・自治会など地縁組織では協働が進んでいるが、市民団体ではまだ協働は進んでいないのが現状である。しかし、気運が高まっているので、協働や再生を進められる可能性は高い。そのためには、多くの人の参加や意見が必要である。</p>
<p>・親が忙しいため、子ども会への加入者が減っている。そのため、川島地区では四子連から脱退し、来年度から独自に子ども会を自治会所属とする。新しい形だが、この場合でも市からの補助金等があるとよい。</p>
<p>・新しい公共として、名古屋市や伊賀市のように地域自治組織があるとよい。四日市でも地区市民センターを中心に地域が補助金をもらって地域の運営をしていく形に徐々に変わりつつある。</p>
<p>・アパートやマンション住民に対して、自治会加入を促すためには、アパートやマンションを建てる前にオーナーと協議することが大切である。</p>
<p>・再生にはまず自分が住む地区を好きになる必要がある。</p>
<p>・再生が必要だと思っている人は多い。ただ、指導者の教育も必要である。</p>

(4) その他：6件

<p>・図書館について、蔵書やビデオライブラリーが充実していることも必要だが、学習場所の充実を強く望む。また、郊外に移転して広い駐車場を確保するのもよいのではないかと思う。</p>
--

<p>・個々の事項を検討する前提に、縦割り行政の弊害を考え、横断的な措置を取るべき。</p>
<p>・今日の討論が無駄にならぬよう、またこのような機会を設けてほしい。</p>
<p>・10年後には今までと違う、輝く四日市になっていることを願う。</p>
<p>・危険な通学路を、行政の力で安心して通行できる環境にしてほしい。10年後には全国から注目されるようになるとよい。</p>
<p>・今回のように、市民が意見を言える機会がもう一度つくってほしい。他の分科会にも参加したかった。</p>